

高浜市総合計画審議会（第3回） 会議録			
日時	平成29年9月5日（火）午後7時～8時45分		
場所	高浜市いきいき広場 2階 ホール	傍聴人数	1名
出席者	委員	中川幾郎、宮田克弥、伊藤詠子、神谷久美子、菅野洋一、後藤恵理、酒井幸代、杉本ゆかり、鈴木幸利、田代峯子、都築一彦、中村みどり、横山英樹、神谷坂敏 (14名出席)	
	行政	市長 吉岡初浩 教育長 都築公人 総務部長 内田徹 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 加藤一志 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 加藤元久 財務グループ リーダー 岡島正明 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主幹 村越茂樹 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 芝田啓二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 神谷義直 地域福祉グループ リーダー 木村忠好 保健福祉兼生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 人事グループ リーダー 杉浦崇臣 税務グループ リーダー 山下浩二 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 杉浦睦彦 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 (26名出席)	
	事務局	企画部長 神谷美百合 総合政策グループ リーダー 野口恒夫 同 主幹 榊原雅彦 同 主査 山本久美 同 主事 稲垣翔太 同 主事 京極昌彦 同 主事 加古博紀 (6名出席)	

<p style="text-align: center;">次 第</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">1) 後期基本計画（素案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">2) 後期基本計画（素案）の公表方法について</p> <p>3 その他</p>
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>資料1：高浜市総合計画審議会（第2回）議事録</p> <p>資料2：後期基本計画 【素案】</p> <p>資料3：後期基本計画（素案）の公表方法について 【案】</p>

1. あいさつ

- 会 長： ・ただ今より第3回高浜市総合計画審議会を開会する。
・前は、後期基本計画の冊子構成や、計画内容を記載するフォーマット、後期基本計画の施策構成（案）について協議した。
・本日は、職員のみなさんが作成した基本計画の素案を発表していただき、意見交換を行う。
・素案の検討については、本日と、10月23日開催の次回第4回審議会で2回行い、11月から市民のみなさんに対して、基本計画（案）の中間公表を行っていくという流れとなる。
・本日は、職員のみなさんに、今後よりよい素案を練り上げていただけるよう、「市民のみなさんから見てわかりやすい内容になっているか」など、市民目線で大局的な観点からご発言をお願いしたい。
・なお、今回は、第1回審議会で決定した専門部会ごとにテーブルに分かれて、委員と行政とで意見交換を行っていく。

2. 議題

1) 後期基本計画（素案）について

- 会 長： ・それでは、議題1に入る。事務局より議題1の進め方について説明をお願いしたい。
- 行 政： <議題1の進め方について説明>
- 会 長： ・それでは、発表に入る。資料2の4ページ、目標（1）からお願いしたい。
- 行 政： 「目標（1）まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくりまします」について説明
- 会 長： ・続いて、6ページの目標（2）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（2）将来を見据えた健全な財政運営を行います」について説明
- 会 長： ・続いて、8ページの目標（3）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（3）人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます」について説明
- 会 長： ・続いて、10ページの目標（4）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（4）学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげまします」について説明
- 会 長： ・続いて、12ページの目標（5）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（5）子育て・子育てを支える環境を整えます」について説明
- 会 長： ・続いて、14ページの目標（6）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（6）産業を活性化して、まちを元気にします」について説明
- 会 長： ・続いて、16ページの目標（7）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（7）みんなでまちをきれいにします」について説明
- 会 長： ・続いて、18ページの目標（8）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（8）自然と都市機能が調和した都市空間をつくりまします」について説明
- 会 長： ・続いて、20ページの目標（9）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（9）安全・安心が実感できる地域づくりを進めます」について説明

- 会 長： ・続いて、22ページの目標（10）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（10）一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます」について説明
- 会 長： ・続いて、24ページの目標（11）をお願いしたい。
- 行 政： 「目標（11）一人ひとりの元気と健康づくりを応援します」について説明
- 会 長： ・最後に、28ページ、第4章「計画の進行管理」について、事務局から説明をお願いしたい。
- 行 政： <第4章「計画の進行管理」について説明>
- 会 長： ・それでは、ただ今の説明をお聞きになった上で、素案に対する意見交換を25分間、各部会で行っていただきたい。

<各部会での意見交換>

- 会 長： ・それでは、それぞれのテーブルでいただいたご意見の内容について全体で共有するために、職員のみなさんから発表をお願いしたい。
まずは、都市基盤部会からお願いしたい。
- 行 政： ・目標（6）では、もっと市内消費が可能になるといいな、まちが大好きというご意見をいただいた。
- ・まちづくり指標の1）市内の法人数に関して、現実的には難しい傾向にあるのではないか、高齢化が進み、瓦業界もなかなか厳しい部分がある。
 - ・まちづくり指標の2）イベントの来場者数について、これが果たして産業の活性化に直結するのか。
 - ・「こんなことに取り組みます！」にある企業誘致について、これが高浜ならではの魅力的なメリットなんだということが、わかりやすくPRされると良い。
 - ・目標（8）では、これは計画全体に対してのご意見であるが、そもそも何のためにやるのか全目標通してよく見えづらい。総合計画をもってして何のためにやろうとしている事柄なのかが読み取りにくい。
 - ・常に三角形の頂点を目指すということを明確にして、このページだけを読めばそれで済んでしまうのではなくて、計画全体を流して読んだときに、縦割り風に見えてしまう。
 - ・目標（9）では、まちづくり指標1）の中の「備え」というのが、例えば備蓄の量にしても、人によってこれだけあれば十分だという量のイメージは異なるので、曖昧になりそうな気がする。例えば、「防災訓練に参加したことがある人の割合」というような指標もいいのではないか。
 - ・自助、共助、公助というフレーズがあるが、参加する人がいろんな面で減っている。何かあった時は自分たちが動かないといけないんだ、という認識を持ってもらえるような広報活動をもっとしていくべきではないか。
 - ・何がどのように変化していくのかを、もう少しページの中で示すことが可能なのではないか。例えば前期、中期の積み残し、それから後期にはこういった課題に向かいたいというようなことが、もう少し読み取れてしかるべきではないか。

- 会長：
- ・大變的確なご意見が出ていたように思う。「この目標が目指す4年後のまちの姿」→「目標達成に向けての考え方」→「こんなことに取り組みます！」そしてそれを測るための「まちづくり指標」がうまくつながっているかということである。
 - ・都市基盤部会だけではなく、他の部会でも同じようなご意見があるかもしれない。行政におかれましては、もう一度これらがきちっとつながっているかを点検していただきたいということだと思ふ。
 - ・まちづくり指標についても、前期、中期で使っているから今回も使うという考えを掘り下げ、もっと違う指標を出すべきではないのかということもあるかもしれない。
 - ・前期でここまで頑張った、中期でここまで頑張った、だから後期ではこうしていくんだというものがある。まちづくり指標が妥当性を欠いている、もしくは変えた方がいいという場合は変えてほしい。そのことも含めて、次回までに検討いただきたいというご意見だったかと思う。
 - ・続いて、総務教育部会の発表をお願いしたい。
- 行政：
- ・全目標通して出た意見として、表現がわかりにくい。例えば経常収支比率、ICT、自己有用感、高浜版プログラミング教育という言葉は、一般市民にはわからない。もう少しわかりやすい言葉で記載してはどうか。
 - ・抽象的な表現が多い。例えば、目標（3）のまちづくり指標2）「希望・目標」という言葉をもう少し具体的にしてはどうか。
 - ・目標（2）のまちづくり指標2）市の財政に関心のある人の割合について、関心の有無だけではなく、もっと進んで市民の方が理解しているかないかを測る指標としてはどうか。
 - ・「総量圧縮」という言葉があるが、何年後にはこうしていくといったことを明確にしてはどうか。
 - ・ご意見に対して行政から、「スケジュールはホームページで公開している」と回答があったが、ホームページに載せてもなかなか市民に情報が届いていないという声がある。情報発信は全目標に関して重要であると感じた。
- 会長：
- ・行政用語や専門用語的な言葉は、行政の中では常識的によく使うが、市民の立場で見たときに説明がいるのではないかと、という視点を忘れないでほしいということである。
 - ・財政運営に対する関心ではなく理解度を測る指標を設定するかについては、検討をお願いしたい。
 - ・公共施設総合管理計画の中で、総量圧縮は前提のようになっているが、総量圧縮という言い方ではなく、適正な配置数を求めるということではなかったのか。結果的には総量圧縮にならざるを得ないと思うが、必要不可欠なものに再配置し直すという意味においては、総量圧縮という言い方は少し乱暴であるように感じる。そのあたりをもう一度検討いただきたい。
 - ・続いて、福祉環境部会の発表をお願いしたい。
- 行政：
- ・当部会でも、全体的にもう少し具体的に表現したほうがわかりやすいのではないかと、いった意見が多く挙がった。
 - ・目標（1）では、情報発信の方法について、情報発信を積極的に行うことは

良いことであるが、具体的にどのような発信をしていくかという具体例を挙げると良いのではないか。広報以外で新しい情報発信の方法を考えるべきである。

- ・情報発信に関しては、情報を受け取る側の関心の度合いが人によって異なるため、まちづくり指標1)において、受け取り手の満足度を確認するのではなく、関心度合いを聞いてみるのも良いのではないか。
- ・委員より、「こういった会議の場に参加することによって市のことに興味を持ち、市のことを知る機会が持てた」という言葉があった。このような接点を持てる機会をもっと増やすべきである。
- ・目標(7)環境の分野では、地域によって差が見られるため、どうしたら市全体で取り組めるかについて考えるべきである
- ・まちづくり指標2)のごみの排出量について、グラムを単に数字で表すだけでなく、イラストを付けたり、身近なものに例えたグラム数を出すと、伝わりやすいのではないか。
- ・まちづくり指標に、「美化活動に参加する人の割合」を入れてはどうか。
- ・目標(10)では、まちづくり指標3)に「ボランティア活動」とあるが、その定義がわからない。
- ・福祉は施策の内容が幅広く、4年後のまちの姿と結びつきにくい部分があるため、見せ方を工夫してはどうか。
- ・目標(11)では、一見高齢者の方を対象としているように見えるが、実際は市民全員が対象となるため、そういったニュアンスを文言に含めていくべきである。

- 会長：
- ・まちづくり指標を変えてはどうかという意見があった。前回の審議会でも議論したが、同じ指標を使うという連続性も大事だが、再点検も必要であるというご意見かと思う。
 - ・私自身気になった点は、目標(1)の職員に関する記載について、職員が地域課題解決に向けて一緒になって考えるというのは非常にわかりやすく、「目標達成に向けての考え方」、「こんなことに取り組みます!」にも出てくる。ところが、それを測る指標として「職員が地域に出て活躍していると思っっている人の割合」が掲げられている。そうではなく、地域に出て、地域活動に関わっている職員の実数を拾った方が良いのではないか。職員が市民からどう見えているかは後の話であり、見え方を聞くよりも実際に働いている職員数を増やすことの方が大事である。そのためには研修システムなど、職員が地域に関わっていくための導きが必要であると思う。
 - ・ただいま発表のあった内容以外にも、委員のみなさまからたくさんのご意見をいただいているかと思う。次回の審議会において、今回の意見交換でいただいた意見や意見用紙でいただいた意見も含め、委員からどのような意見が出て、行政がどのように対応したかについて、全体で共有したい。
 - ・それではここで、委員のみなさまから一言ずつコメントをいただきたい。所属の部会以外に関係する目標について、これだけは直接言っておきたいというご意見があればお願いしたい。

- 委員：
- ・目標(10)の避難行動要支援者の支援体制について、高浜小学校区が最も市内で進んでいると聞いているが、他の学区の進捗状況が全く見えな

め、どのくらい進捗に差があるのかが気になる。

- 委員：・産業に関して、まちをあげて瓦をPRしていただいているが、なかなか厳しい現状がある。今後も前向きな考えで施策を進めていただきたい。
- 委員：・計画を一通り読むと、PRやアナウンスの仕方に工夫が必要という文言が出てくる。これからは、一生懸命やっていることをいかに市民の方に伝えるかということが非常に重要になってくると思われるため、そのことをうまい表現で全体的に入れてほしい。当然アナウンスをしていないと、市が何をやっているのか知らない人の方が多いと思う。
- 委員：・例えば、高浜市の福祉ではこんなことに取り組んでいる、認知症対策でこんなことに取り組んでいるというように、もっとPRするようなことを、取り組みの中にも入れていただきたい。
- 委員：・目標（1）のまちづくり指標2「地域活動に参加したことがある人の割合」について、1年間でのことなのか、今まででのことなのか分からない。
- 委員：・目標（2）の経常収支比率がわからないため、細かい説明が必要である。
- 委員：・子どもたちに高浜市に愛着を持っていただけるように、市の歌やカルタなどで、市にはこんなところがあるんだということを伝えてはどうか。
- 委員：・目標（7）で、ごみだけではなく、雑草もなくしてほしい。雑草があると、そこにごみを捨てる人が増える。
- 委員：・やはり市民にわかりやすい言葉で書いていただきたい。
- 委員：・目標によっては、「こんなことに取り組みます！」の具体性に欠けるところが見られる。書きづらい部分もあると思うが、わかりやすいものを作っていただきたい。
- 委員：・自宅の近くに小さな公園があるのだが、雑草がとても伸びている。雑草を抜きたいが量も多く、またそれをどう処理するのかという問題もあり、みんなでもちをきれいにするにはどうしたらいいのかと悩んでいる。
- 委員：・4年後の目標があって、それに対してこんなことに取り組んでいく、そしてそれがわかる指標はこれです、というつながりが見えることは大事だなと感じた。
- 委員：・その中でも、私は「こんなことに取り組みます！」に書かれていることが、より具体的、そして市民が「このことか」と生活の中で感じられることが、とても重要だと思う。
- 委員：・4年後というのは“未来”である。未来の目標があるから今やることが決まるのだが、市民が感じるのは“今”である。未来があるから今があり、多くの方は今を感じてこれからを見るため、「こんなことに取り組みます！」がより具体的に、そのことを市民が生活の中でつかめるようになるとうれしいし、一つでも多く計画の中に出てくることを願っている。
- 委員：・目標（9）のまちづくり指標1で、防災訓練のタオル掛けだけレベルが少し違うのではないか。安否確認ということだと思うが、タオル掛けが備蓄と同じレベルにあることに少し違和感を感じる。
- 委員：・また、「こんなことに取り組みます！」の1つ目で、“誰も防ぐことができない自然災害に対し”とあるが、この言葉はいらないのではないか。
- 委員：・高校生を対象とする取り組みは、目標（6）の高浜高校SBPだけで、あとは中学生以下の子どもに対する取り組みばかりである。大人と同じ選挙権を持つ

高校生を対象とした話が、もっと計画の中に出てきてほしいと思う。

- 委員：・環境の関係について、まちをきれいにしようという思いでみんなで収集活動を行っており、ごみの立ち当番も町内会単位で1年に2・3回行うが、その点をもう少し考える余地があればと思う。
- 委員：・目標（2）について、目標フレーズを“健全な”と新しく変えた指標として「経常収支比率」を設定したと思うが、やはり理解できず、数値が高い方が良いのか低い方が良いのかもわからない。言葉の意味の説明書きが必要である。
- 委員：・目標（3）・（4）に「学び」という言葉が出てくるが、目標フレーズでは漢字表記、文中ではひらがな表記で書かれている。これには何か理由があるのかと疑問に思った。
- 委員：・たかはま未来カフェに参加させていただき、送られてきた資料を見た瞬間「難しい」と感じた。やはり市民の方にわかりやすくということが一番である。
- ・障がい者の方と一緒に働いているが、障がい者の方たちが受け身にならないように、中学生などの子どもたちや障がいを持つ方でもわかるような、子ども版基本計画みたいなものを作っていただける良いと思う。
- 会長：・職員のみなさんにおかれましては、本日いただいたご意見を踏まえ、素案の再検討・修正をお願いしたい。

2) 後期基本計画（素案）の公表方法について

- 会長：・それでは、議題2に入る。事務局より説明をお願いしたい。
- 行政：<資料3に基づき説明>
- 会長：・ただいま事務局から説明のあった内容について、ご質問などがあればお願いしたい。
- <意見・質問等なし>
- 会長：・それでは、後期基本計画（素案）の公表方法（案）について、原案のとおりとすることでご異議ないか？
- <異議なしの声>
- 会長：・「ご異議なし」とのことであるため、原案のとおりとする。

3. その他

- 会長：・では、「その他」に入る。事務局から何かあればお願いしたい。
- 行政：・本日、意見を出し切れなかったという方は、9月12日（火）までに、意見用紙を提出していただくようお願いしたい。
- ・次回審議会について、当初の開始予定時刻から1時間早め、10月23日（月）午後6時から開催したい。次回は市民のみなさんへの基本計画（案）の中間公表前の最終確認を行いたい。
- 会長：・では、これをもちまして、第3回総合計画審議会を終了する。